

報道関係者 各位

令和 5 年 4 月 28 日

(担当) 医療情報活用部長 宇山佳明

(電話) 03 (3506) 9473

MID-NET[®]で 900 万人超のデータを製造販売後調査等に活用可能に
- 医薬品医療機器総合機構 データ活用に向けた連携に関する契約を国立病院機構と締結 -

独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA、理事長 藤原康弘）と独立行政法人国立病院機構（NHO、理事長 楠岡英雄）は、令和 5 年 4 月 28 日に医療情報データベースの連携に関する契約を締結しました。本連携は PMDA が管理運営する MID-NET[®]のデータ規模拡大を目的としたものであり、MID-NET[®]と 国立病院機構診療情報集積基盤（NCDA）が連携することで、900 万人超（令和 4 年 12 月末までの集計結果。MID-NET[®] 605 万人超、NCDA 約 300 万人）のデータが利用可能となります。

本連携により、製造販売業者等が市販後の医薬品の安全性等を確認する目的で実施する製造販売後調査やそれ以外の調査について、これまで利用可能であった MID-NET[®]のデータに加えて NCDA のデータ（レセプト、DPC）も利用可能になります。また、本連携によるデータ規模拡大により、これまでの規模では困難であった調査も可能になる等、調査可能範囲が広がることで、医薬品等の安全対策の更なる質の向上に貢献することが期待されます。

本連携に基づき、令和 5 年 5 月以降から順次、本連携で利用可能となる NCDA のデータに関する情報提供を開始する予定です。また、令和 5 年度下半期からは、NCDA のデータを含めた MID-NET[®]の利活用申出の受付を開始する予定です。

◎ MID-NET[®]については以下をご覧ください。

<https://www.pmda.go.jp/safety/mid-net/0001.html>

◎ NCDA については以下をご覧ください。

https://nho.hosp.go.jp/cnt1-1_000070.html